

ー 目標Ⅱ. 既存施設の有効活用に向けた技術開発 ー

●港湾施設の既存ストックの活用

6. 老朽化岸壁等のリニューアル技術の開発

～ 老朽化対策の構築及び経済的な耐震強化・大水深化改良方法の検討 ～

■開発の背景

管内各港の岸壁等係留施設は、接岸時の衝突や重量物の取扱い及び、経年変化により老朽化が著しい施設が増加しています。

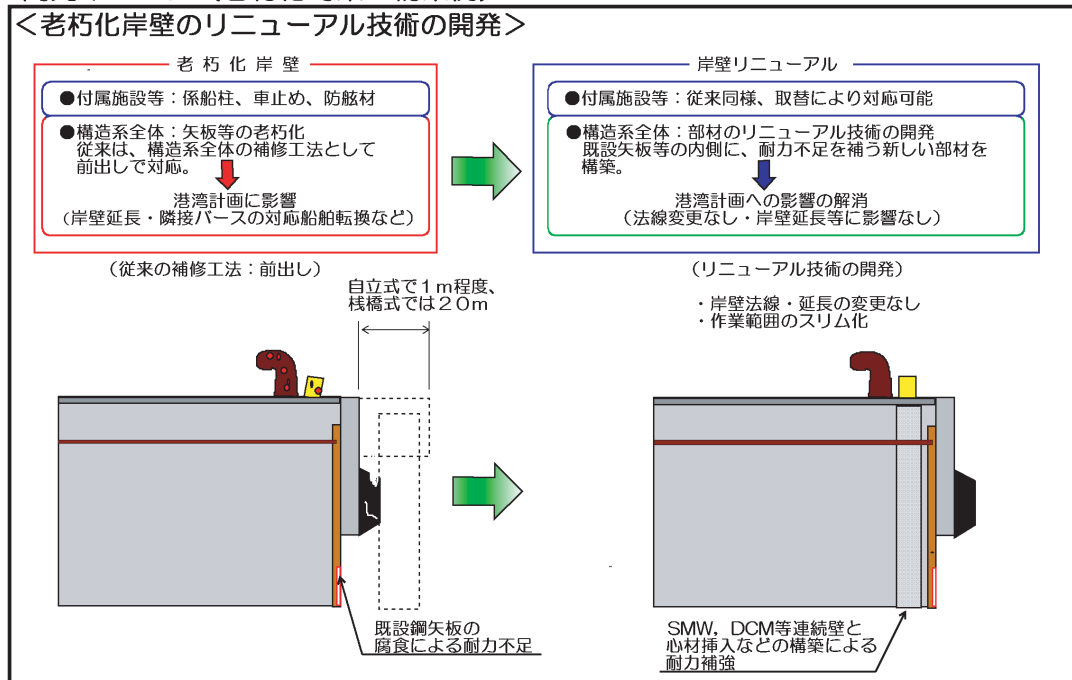
また、今後は緊急時の防災拠点としての耐震強化や、対応船舶の大型化に伴う大水深化改良へも柔軟に対応して、港湾施設の機能強化を図っていく必要があります。

従来のリニューアル方法として、岸壁前面に鋼管矢板などを前出しして施工する対策が多く実施されています。しかし、その場合には岸壁延長が不足する場合があります、小型船バースへの切り替えや、大型船対応バース数を削減したりしなければならないケースがあります。

■開発の目的

対応船舶バースの確保及び老朽化対策の構築、大水深化改良への対応
耐震強化への対応（防災対策）

■開発イメージ（老朽化対策の構築例）



■開発の目標

老朽化や耐震強化・大水深化改良に対応した経済的なリニューアル工法の開発

■開発項目

- 矢板施工法の検討
- 経済的な岸壁リニューアル技術の検討
- コスト比較・設計法の検討
- 岸壁増深工法の検討
- 設計及び安全面からの嵩上げ施工技術の検討
- 経済的な耐震強化岸壁の整備方法の検討
- マニュアル化の検討